

## 平成21年9月議会質問及び回答要旨

### 1. UIターン就農支援対策について

《回答：農林水産部長》

UIターン等の新規就農希望者については、益田の開発農地における新たな営農の担い手の一つとして、大いに期待している。現在益田地域においてUIターンを含めた新規就農希望者に対し、すでに入植している農家での研修や技術の習得を目的とした益田帰農塾開催等を人的な面で支援しているが、今後は支援の取り組みについて、幅広い検討を進めていきたいと考えている。

### 2. 発達障害の支援制度について

《回答：健康福祉部長》

国において、発達障害者支援の見直しが行われ、発達障害者当事者とその家族に対して、乳幼児期から成人期まで切れ目のない支援が重要であり、そのため地域での整備や人材の育成や情報提供等が示されている。

県の支援に関する検討状況は、本県の支援の現状と課題を検証し、今後の支援のあり方や具体的な取り組みを検討するため、県の自立支援協議会の中に支援部会を設置し、今後の支援のあり方を検討し、今年度末までに検討結果をまとめる予定である

### 3. 水と緑の森づくり税について

《回答：知事》

当初計画の35,000ヘクタール以上の森林を再生し、これまで4,500人以上の県民の参加を得て、森づくり事業を行うなど、大変実績を上げていることから、今後も事業継続の必要があると考えている。

これからパブリックコメントにより、広く県民の方々に意見を聞き、年内には、この水と緑の森づくり税及び事業をどうするかということについて、結論を出していきたいと考えている。

### 4. がん対策推進について

《回答：知事》

島根県は、国に先駆けてがん対策推進条例を制定し、またがん対策募金が県民運動として展開されるなど、議会、県民の方々、あるいは行政が一体と

なってがん対策を総合的に進めて来ている。

今後は、県民のがん死亡率を減少させるために、がんの早期発見と早期診談のため、がん診率の向上に重点をおき、がん対策を進めていきたいと考えている。

《回答：健康福祉部長》

今後のがん対策の取り組みとしては、がん検診の受診者を伸ばすということが大きな柱である。その中で2つの柱で取り組んでいきたいと考えている。

一つ目の柱は、検診を受けようとする県民一人一人の意識の醸成であり、そのための啓発活動の充実である。

二つ目の柱は、受診しやすい検診体制である。そのため受診率の向上効果が見込まれる休日や時間外検診への支援、マンモグラフィー検診機器や子宮がん検診車の整備などに取り組んでいきたいと考えている。